

インドネシア株式ファンド

償還日(2025年2月27日)		第31期	
償還価額	12,689.03円	騰落率	-9.0%
純資産総額	1,164百万円	分配金合計	0円

(注)騰落率は収益分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

追加型投信／海外／株式

第31期(信託終了日2025年2月27日)

作成対象期間:2024年12月10日～2025年2月27日

■本ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2025年2月27日(繰上償還日)まで
運用方針	インドネシア株式マザーファンド受益証券への投資を通じて、インドネシアの株式に投資します。
主要投資対象	
本ファンド	インドネシア株式マザーファンドの受益証券
インドネシア株式マザーファンド	インドネシアの株式
運用方法・組入制限	①株式への実質投資割合には制限を設けません。 ②外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。 ③同一銘柄の株式への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
分配方針	原則として毎計算期末(毎年6月7日および12月7日。休業日の場合は翌営業日。)に収益の分配を行います。投信会社が経費控除後の利子・配当等収益および売買損益(評価損益を含みます。)等の中から基準価額水準、市場動向等を勘案して分配金を決定します。

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「インドネシア株式ファンド」は、インドネシアの株式に投資することにより、信託財産の積極的な成長をめざして運用を行ってまいりましたが、2025年2月27日に償還いたしました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げますとともに、受益者の皆さまのご愛顧に対しまして、厚く御礼申し上げます。

ゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント

〒105-5543 東京都港区虎ノ門2-6-1 虎ノ門ヒルズステーションタワー

お問合せ先:03-4587-6000(代表)

受付時間:営業日の午前9時～午後5時

www.gsam.co.jp

■設定以来の運用実績

決 算 期	基準価額 (分配落)	税引前 分配金	期 中 騰落率	参考指数	期 中 騰落率	株 式 組入比率	純資産 総 額
(設 定 日) 2009年11月30日	円 10,000	円 —	% —	2,246.73	% —	% —	百万円 2,204
1期 (2010年6月7日)	11,458	1,000	24.6	2,795.02	24.4	94.5	3,947
2期 (2010年12月7日)	12,597	1,100	19.5	3,461.78	23.9	94.7	6,056
3期 (2011年6月7日)	12,675	200	2.2	3,642.49	5.2	99.3	7,556
4期 (2011年12月7日)	11,536	0	△9.0	3,264.83	△10.4	98.6	5,125
5期 (2012年6月7日)	11,488	0	△0.4	3,303.54	1.2	97.5	4,413
6期 (2012年12月7日)	12,221	700	12.5	3,734.57	13.0	96.8	4,177
7期 (2013年6月7日)	14,211	2,000	32.6	5,001.22	33.9	92.6	4,170
8期 (2013年12月9日)	10,416	0	△26.7	3,637.29	△27.3	97.9	3,156
9期 (2014年6月9日)	11,469	1,100	20.7	4,295.34	18.1	93.4	2,938
10期 (2014年12月8日)	12,863	1,200	22.6	5,136.11	19.6	93.2	3,225
11期 (2015年6月8日)	12,339	0	△4.1	4,845.54	△5.7	90.1	3,384
12期 (2015年12月7日)	10,595	0	△14.1	4,012.52	△17.2	94.5	2,672
13期 (2016年6月7日)	10,483	0	△1.1	3,965.78	△1.2	92.9	2,483
14期 (2016年12月7日)	11,156	400	10.2	4,534.75	14.3	90.7	2,517
15期 (2017年6月7日)	11,407	200	4.0	4,737.50	4.5	93.5	2,529
16期 (2017年12月7日)	11,638	300	4.7	5,009.47	5.7	96.3	2,458
17期 (2018年6月7日)	11,237	0	△3.4	4,855.77	△3.1	93.7	2,320
18期 (2018年12月7日)	11,148	0	△0.8	4,770.08	△1.8	95.5	2,249
19期 (2019年6月7日)	11,110	0	△0.3	4,718.93	△1.1	91.2	2,154
20期 (2019年12月9日)	11,571	0	4.1	4,825.76	2.3	91.6	2,164
21期 (2020年6月8日)	9,333	0	△19.3	3,908.75	△19.0	98.1	1,589
22期 (2020年12月7日)	11,080	0	18.7	4,299.76	10.0	97.4	1,831
23期 (2021年6月7日)	12,385	300	14.5	4,670.18	8.6	98.2	1,700
24期 (2021年12月7日)	12,984	500	8.9	5,172.22	10.7	95.3	1,672
25期 (2022年6月7日)	14,934	1,000	22.7	6,528.86	26.2	97.2	2,091
26期 (2022年12月7日)	13,797	0	△7.6	6,065.46	△7.1	90.3	2,196
27期 (2023年6月7日)	14,568	0	5.6	6,221.79	2.6	91.0	2,590
28期 (2023年12月7日)	14,616	0	0.3	6,733.03	8.2	96.8	2,403
29期 (2024年6月7日)	13,884	0	△5.0	6,695.90	△0.6	95.4	1,787
30期 (2024年12月9日)	13,947	0	0.5	7,013.65	4.7	92.0	1,616
(償 還 日) 31期 (2025年2月27日)	(償還価額) 12,689.03		△9.0	6,077.68	△13.3	—	1,164

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) 当報告書では参考指数としてジャカルタ総合指数(円換算指数)を表示しております。なお、参考指数は前営業日のジャカルタ総合指数の数値を使用して委託会社において円換算したものです。ただし、設定日においては2009年11月30日の数値を使用して計算しております。

(注3) 本ファンドはマザーファンドを組入れますので、株式組入比率は、実質比率を記載しております。

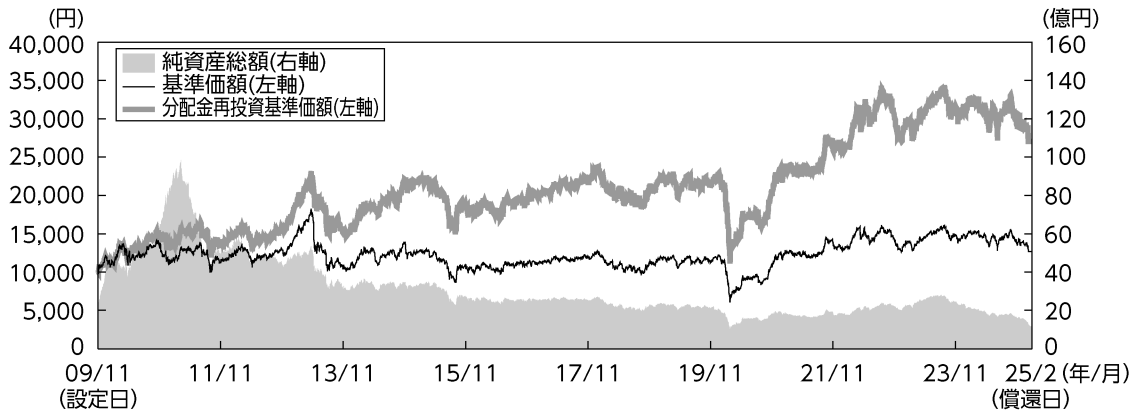
(注4) 騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

■当期中の基準価額と市況推移

年 月 日	基準価額	騰落率	参考指数	騰落率	株 式 組入比率
(期 首) 2024年12月 9 日	円 13,947	% —	7,013.65	% —	% 92.0
12月末	13,850	△0.7	6,895.84	△1.7	89.6
2025年 1 月末	13,278	△4.8	6,719.80	△4.2	85.1
(償還日) 2025年 2 月27日	(償還価額) 12,689.03	△9.0	6,077.68	△13.3	—

- (注1) 騰落率は期首比です。
- (注2) 当報告書では参考指数としてジャカルタ総合指数（円換算指数）を表示しております。なお、参考指数は前営業日のジャカルタ総合指数の数値を使用して委託会社において円換算したものです。
- (注3) 本ファンドはマザーファンドを組入れますので、株式組入比率は、実質比率を記載しております。

■設定以来の基準価額等の推移について（2009年11月30日～2025年2月27日）



(注1) 分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

(注3) 分配金再投資基準価額は、設定日（2009年11月30日）の基準価額を起点として指数化しています。

■前期末までの運用状況（2009年11月30日～2024年12月9日）

○投資環境

<インドネシア株式市場>

当該期間のインドネシア株式市場は、主要株価指数であるジャカルタ総合指数（インドネシア・ルピア建て）は上昇しました。

設定（2009年11月）から2013年5月にかけては、好調な国内企業業績に加え、海外株式市場の上昇や海外からの資金流入を受けて、インドネシア株式市場は上昇する展開が続きました。

2015年4月以降は、中央銀行が発表した2015年の経済成長率の見通しが市場予想を下回ったことや市場の予想を下回る業績発表が相次ぎ、海外投資家の売りが殺到し、下落する局面となりました。

2016年の年明けには、中国株式市場の大幅下落を受けて、資源株主導で下落したものの、中央銀行が政策金利を引き下げたことや米国の金融引き締めが緩やかになるとの観測が広がったことなどから買い安心感が広がり、堅調な推移となりました。その後、S & P社がインドネシア国債を投資適格級に格上げしたことや2018年の成長加速を政府が示したこと、および海外からの投資促進のための規制緩和策が好感されて史上最高値を更新する動きが続きました。

2020年1月に入ると中国・武漢で発生した新型コロナウイルスの感染拡大が警戒され下落に転じました。その後も新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、一時的な反発局面はあったものの、経済への影響が深刻化するとの見方や、世界的なリスクオフの流れの影響を受け大きく下落しました。

2021年10月以降は、新型コロナウイルス感染状況が少し落ち着いたことに加えて、堅調なコモディティ市場や市場の事前予想比で強めの経済指標の発表などを背景に海外からの資金が流入し、大きく上昇しました。その後も海外からの資金流入等に支えられ2023年9月にかけて史上最高値を更新する展開が続きました。

＜外国為替市場＞

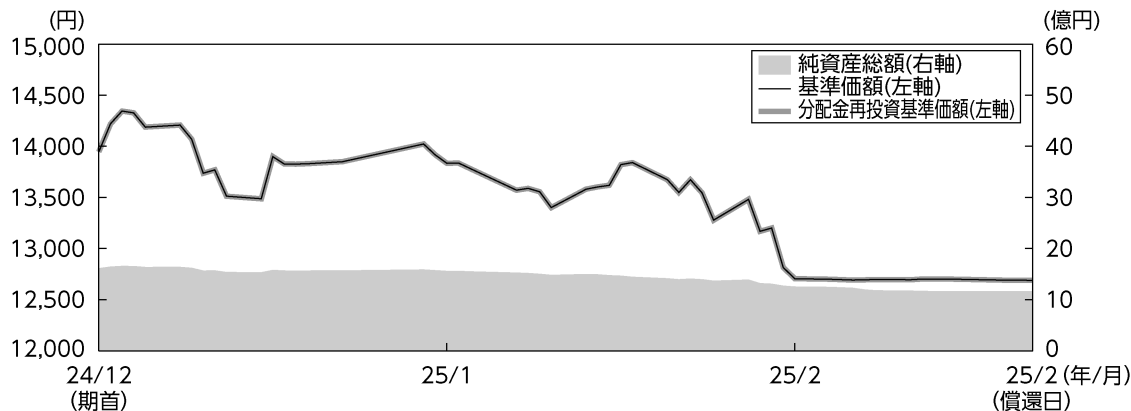
外国為替市場では、インドネシア・ルピアは円に対して上昇しました。

○運用状況【第1期～第30期】（2009年11月30日～2024年12月9日）

本ファンドは、インドネシア株式マザーファンドへの投資を通じてインドネシアの株式に投資し、信託財産の積極的な成長をめざして運用を行いました。この期間のパフォーマンス（分配金再投資ベース）は197.0%となりました。

運用経過

■基準価額等の推移について（2024年12月10日～2025年2月27日）



（注1）分配金再投資基準価額は、収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注2）実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

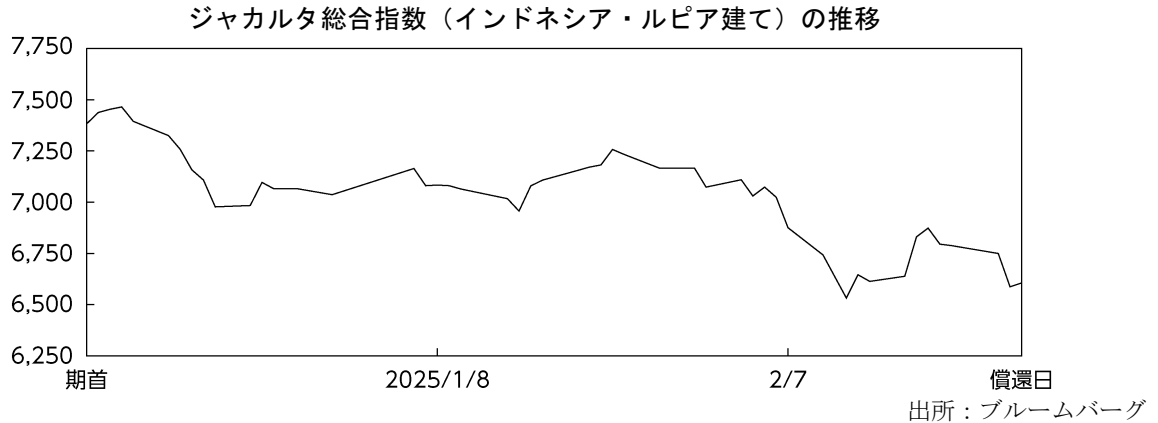
（注3）分配金再投資基準価額は、期首の基準価額を起点として指数化しています。

（注4）騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しています。

■基準価額の主な変動要因

前期末13,947円であった基準価額は、インドネシア株式市場が下落し、インドネシア・ルピアも対円で下落したことから、償還日には12,689円03銭となりました。

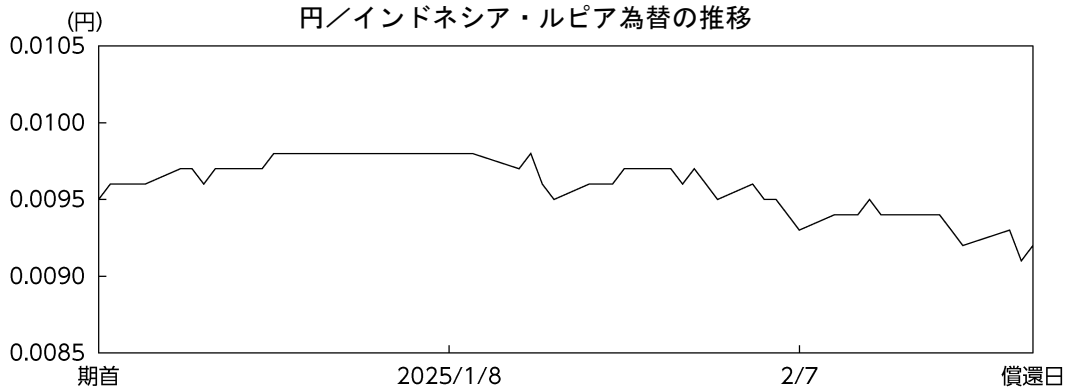
■投資環境について
 <インドネシア株式市場>



当期のインドネシア株式市場は、主要株価指数であるジャカルタ総合指数（インドネシア・ルピア建て）は下落しました。

期首より、次期米大統領就任後の経済政策等への不透明感などを背景に、インドネシア株式は下落しました。その後、年末までは小動きで横ばい推移となりました。2025年1月半ばまでは小動きの展開が続き、インドネシア中銀が予想外の利下げを実施するとインドネシア株式は一旦上昇しましたが、長く続かず反落しました。その後は大手銀行の決算発表が市場予想を下回ったことや、テクニカルな要因で再生可能エネルギー関連株が大きく下落したことなどにより、インドネシア株式市場は下落しました。償還日にかけては、米国の関税政策への懸念などから世界的に株式市場が軟調となるなか、インドネシア株式も下落する展開となりました。

<外国為替市場>



出所：一般社団法人投資信託協会

当期のインドネシア・ルピア（以下、ルピア）は、前期末と比較して円高・ルピア安となりました。

期首に1ルピア=0.0095円で始まった円・ルピア相場は、インドネシア中銀が通貨防衛のために為替介入を実施し、ルピアの安定を優先することを強調したことなどにより、2024年末に向けて円安・ルピア高の動きとなりました。2025年1月にインドネシア中銀が予想外の利下げを行ったことから、通貨ルピアの安定よりも景気支援を選好したとの見方が広まり、ルピアは売られることとなり、対円で下落しました。トランプ米大統領就任以降は、総じて追加関税への思惑により振らされる展開となりました。2月に発表された1月の外貨準備高が過去最高を更新したことが伝わるとルピアは強含む場面もありましたが、ルピアに対する懐疑的な見方も根強くあり、償還日にむけてルピアは対円で下落基調が続きました。償還日の円・ルピア相場は、前期末と比較して3.2%円高・ルピア安の1ルピア=0.0092円となりました。

■ポートフォリオについて

<本ファンド>

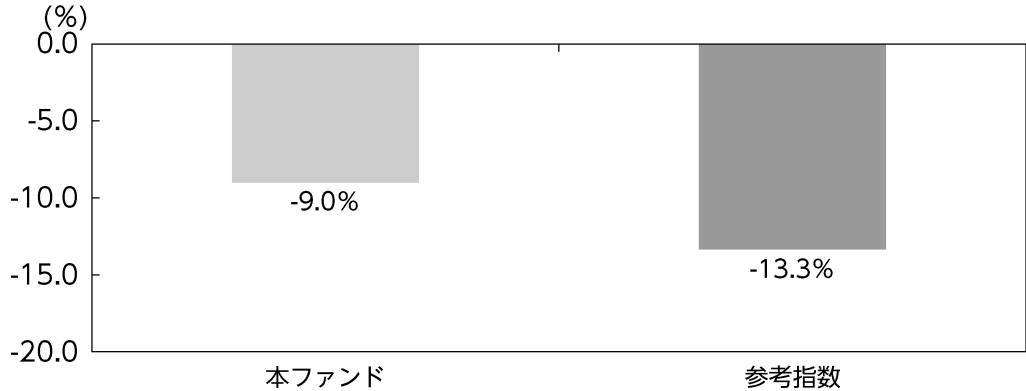
期首時点で本ファンドはインドネシア株式マザーファンド受益証券を100.0%組入れておりましたが、償還日現在においてはコール・ローン等の短期金融資産のみを保有しています。

<本マザーファンド>

インドネシアの株式に投資しておりましたが、2025年2月26日をもって償還いたしました。

■ベンチマークとの差異について

本ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは本ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注1) 基準価額の騰落率は収益分配金（税引前）を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

(注2) 参考指数はジャカルタ総合指数（円換算指数）です。

信託期間終了時における償還価額は12,689円03銭となりました。

本ファンドは、信託約款の規定に基づき、2025年2月27日をもちまして繰上償還させていただくことになりました。本ファンドを長らく保有頂きました受益者の皆さまのご愛顧に感謝いたします。

■1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2024年12月10日～2025年2月27日		
	金額	比率	
信託報酬 (投信会社)	56円 (27)	0.410% (0.200)	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 ファンドの運用、受託会社への指図、基準価額の算出、目論見書・運用報告書等の作成等の対価 購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、分配金・換金代金・償還金の支払い業務等の対価 ファンドの財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(販売会社)	(26)	(0.193)	
(受託会社)	(2)	(0.017)	
売買委託手数料 (株式)	11 (11)	0.084 (0.084)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
その他費用 (保管費用)	4 (4)	0.029 (0.029)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
合計	71	0.523	

期中の平均基準価額は13,564円です。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む。)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、本ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、本ファンドに対応するものを含みます。

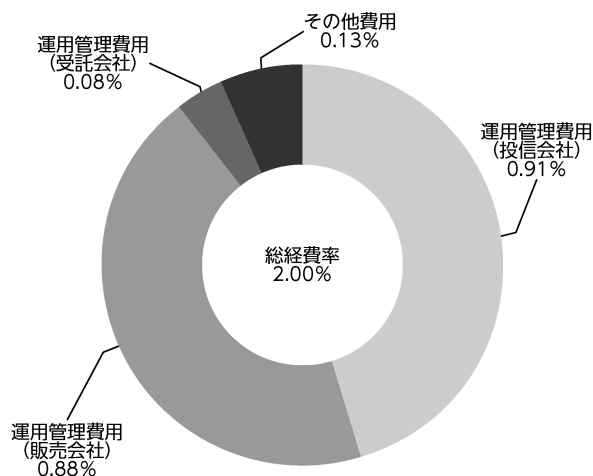
(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

■総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率)は2.00%です。



(注1) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■売買及び取引の状況(2024年12月10日から2025年2月27日まで)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
インドネシア株式マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 433,235	千円 1,490,699

■親投資信託の株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
	インドネシア株式マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	1,398,312千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	1,288,476千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	1.08

(注1) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(注2) マザーファンドの金額および割合は、当該子ファンドの計算期間で算出。

■利害関係人との取引状況等(2024年12月10日から2025年2月27日まで)

利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細(2025年2月27日現在)

償還日における有価証券の組入れはありません。

■投資信託財産の構成

2025年2月27日現在

項 目	償 還 日	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1, 170, 325	100. 0
投 資 信 託 財 産 総 額	1, 170, 325	100. 0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

■資産、負債、元本及び償還価額の状況

■損益の状況

項 目	償 還 日
	2025年 2 月27日
(A) 資 産	1, 170, 325, 913円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1, 170, 325, 913
(B) 負 債	5, 967, 537
未 払 信 託 報 酬	5, 967, 537
(C) 純 資 産 総 額 (A - B)	1, 164, 358, 376
元 本	917, 610, 492
償 還 差 益 金	246, 747, 884
(D) 受 益 権 総 口 数	917, 610, 492口
1万口当たり償還価額(C/D)	12, 689円03銭

項 目	当 期
	自2024年12月10日 至2025年 2 月27日
(A) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 110, 869, 401円
売 買 益	13, 452, 531
売 買 損	△ 124, 321, 932
(B) 信 託 報 酬 等	△ 5, 967, 537
(C) 当 期 損 益 金 (A + B)	△ 116, 836, 938
(D) 前 期 繰 越 損 益 金	70, 122, 793
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	293, 462, 029
(配 当 等 相 当 額)	(222, 413, 933)
(売 買 損 益 相 当 額)	(71, 048, 096)
償 還 差 益 金 (C + D + E)	246, 747, 884

- (注1) 損益の状況の中で (A) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で (B) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で (E) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 収益分配金の計算過程において、マザーファンドの配当等収益を繰入れております。
- (注5) 当期首元本額は1, 158, 775, 761円、当作成期間中において、追加設定元本額は0円、同解約元本額は241, 165, 269円です。
- (注6) インドネシア株式マザーファンドにおいて、信託財産の運用に係わる権限の全部または一部を委託する為に要する費用：1, 030, 093円

■投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2009年11月30日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2025年2月27日		資産総額	1,170,325,913円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	5,967,537円
受益権口数	2,204,508,673口	917,610,492口	△1,286,898,181口	純資産総額	1,164,358,376円
元本額	2,204,508,673円	917,610,492円	△1,286,898,181円	受益権口数	917,610,492口
1万口当たり償還金					
12,689.03円					
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	3,445,214,941円	3,947,471,077円	11,458円	1,000円	10.0000%
第2期	4,807,374,655	6,056,068,315	12,597	1,100	11.0000
第3期	5,961,992,758	7,556,951,329	12,675	200	2.0000
第4期	4,442,860,575	5,125,199,057	11,536	0	0.0000
第5期	3,841,404,284	4,413,172,237	11,488	0	0.0000
第6期	3,418,619,722	4,177,851,632	12,221	700	7.0000
第7期	2,934,383,746	4,170,041,121	14,211	2,000	20.0000
第8期	3,030,406,812	3,156,455,422	10,416	0	0.0000
第9期	2,562,091,748	2,938,348,712	11,469	1,100	11.0000
第10期	2,507,848,197	3,225,724,584	12,863	1,200	12.0000
第11期	2,742,908,547	3,384,477,366	12,339	0	0.0000
第12期	2,522,154,861	2,672,188,705	10,595	0	0.0000
第13期	2,368,810,613	2,483,161,818	10,483	0	0.0000
第14期	2,256,410,403	2,517,167,868	11,156	400	4.0000
第15期	2,217,481,999	2,529,552,125	11,407	200	2.0000
第16期	2,112,071,736	2,458,109,993	11,638	300	3.0000
第17期	2,065,111,310	2,320,531,683	11,237	0	0.0000
第18期	2,018,019,242	2,249,649,183	11,148	0	0.0000
第19期	1,939,160,250	2,154,319,286	11,110	0	0.0000
第20期	1,870,481,744	2,164,418,779	11,571	0	0.0000
第21期	1,702,713,769	1,589,194,894	9,333	0	0.0000
第22期	1,653,252,087	1,831,832,241	11,080	0	0.0000
第23期	1,372,841,158	1,700,296,417	12,385	300	3.0000
第24期	1,287,868,639	1,672,178,341	12,984	500	5.0000
第25期	1,400,675,107	2,091,736,090	14,934	1,000	10.0000
第26期	1,591,896,258	2,196,263,379	13,797	0	0.0000
第27期	1,778,333,385	2,590,672,889	14,568	0	0.0000
第28期	1,644,739,953	2,403,929,008	14,616	0	0.0000
第29期	1,287,808,785	1,787,940,535	13,884	0	0.0000
第30期	1,158,775,761	1,616,149,614	13,947	0	0.0000

■償還金のお知らせ

1 万口当たり償還金	12,689円03銭
------------	------------

◇個人の受益者については、償還金が個別元本を上回る場合、上回る部分が課税対象となります。

◇税率は、個人の受益者については原則20.315%（所得税15.315%、地方税5%）です。

◇税法が改正された場合等には、上記内容が変更になる場合もあります。

インドネシア株式 マザーファンド

親投資信託

第16期(信託終了日2025年2月26日)

作成対象期間: 2024年12月10日～2025年2月26日

受益者の皆さまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「インドネシア株式マザーファンド」は、2025年2月26日に償還の運びとなりました。ここに謹んで運用経過と償還内容をご報告申し上げますとともに、受益者の皆さまのご愛顧に対しまして、厚く御礼申し上げます。

■本ファンドの仕組みは次のとおりです。

商品分類	親投資信託
信託期間	2025年2月26日(繰上償還日)まで
運用方針	主にインドネシアの株式に投資し、信託財産の積極的な成長をめざして運用を行います。
主要投資対象	インドネシアの株式
組入制限	株式への投資割合には制限を設けません。

■設定以来の運用実績

決 算 期	基準価額	期 中 騰落率	参考指数	期 中 騰落率	株 式 組入比率	純資産 総 額
(設 定 日) 2009年11月30日	円 10,000	% —		% —	% —	百万円 2,204
1 期 (2010年12月 7 日)	14,977	49.8	2,246.73	54.1	94.7	6,055
2 期 (2011年12月 7 日)	14,102	△5.8	3,264.83	△5.7	98.6	5,125
3 期 (2012年12月 7 日)	16,031	13.7	3,734.57	14.4	96.8	4,177
4 期 (2013年12月 9 日)	15,756	△1.7	3,637.29	△2.6	97.9	3,156
5 期 (2014年12月 8 日)	23,654	50.1	5,136.11	41.2	93.6	3,213
6 期 (2015年12月 7 日)	19,815	△16.2	4,012.52	△21.9	94.5	2,672
7 期 (2016年12月 7 日)	22,000	11.0	4,534.75	13.0	90.7	2,517
8 期 (2017年12月 7 日)	24,354	10.7	5,009.47	10.5	96.3	2,458
9 期 (2018年12月 7 日)	23,729	△2.6	4,770.08	△4.8	95.5	2,249
10期 (2019年12月 9 日)	25,078	5.7	4,825.76	1.2	91.6	2,164
11期 (2020年12月 7 日)	24,401	△2.7	4,299.76	△10.9	97.4	1,831
12期 (2021年12月 7 日)	30,890	26.6	5,172.22	20.3	95.3	1,672
13期 (2022年12月 7 日)	35,626	15.3	6,065.46	17.3	90.3	2,196
14期 (2023年12月 7 日)	38,386	7.7	6,733.03	11.0	96.8	2,403
15期 (2024年12月 9 日)	37,303	△2.8	7,013.65	4.2	92.0	1,616
(償 還 日) 16期 (2025年 2月26日)	(償還価額) 34,049.04	△8.7	5,994.25	△14.5	—	1,170

(注) 当報告書では参考指数としてジャカルタ総合指数(円換算指数)を表示しております。なお、参考指数は前営業日のジャカルタ総合指数の数値を使用して委託会社において円換算したものです。ただし、設定日においては2009年11月30日の数値を使用して計算しております。

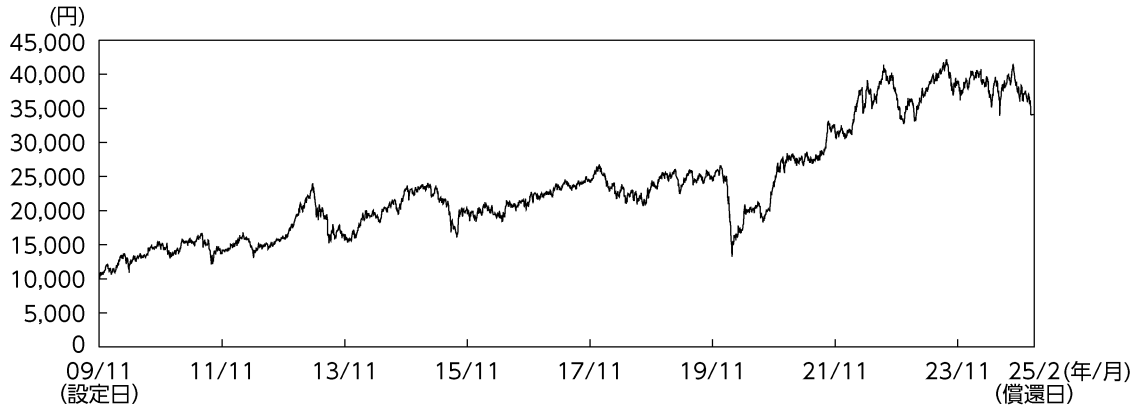
■当期中の基準価額と市況推移

年 月 日	基準価額	騰落率	参考指数	騰落率	株 式 組入比率
(期 首) 2024年12月 9 日	円 37,303	% —		% —	% 92.0
12月末	37,081	△0.6	6,895.84	△1.7	89.5
2025年 1 月末	35,596	△4.6	6,719.80	△4.2	84.8
(償還日) 2025年 2 月26日	(償還価額) 34,049.04	△8.7	5,994.25	△14.5	—

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 当報告書では参考指数としてジャカルタ総合指数(円換算指数)を表示しております。なお、参考指数は前営業日のジャカルタ総合指数の数値を使用して委託会社において円換算したものです。

■設定以来の基準価額の推移について（2009年11月30日～2025年2月26日）



■前期末までの運用状況（2009年11月30日～2024年12月9日）

○投資環境

＜インドネシア株式市場＞

当該期間のインドネシア株式市場は、主要株価指数であるジャカルタ総合指数（インドネシア・ルピア建て）は上昇しました。

設定（2009年11月）から2013年5月にかけては、好調な国内企業業績に加え、海外株式市場の上昇や海外からの資金流入を受けて、インドネシア株式市場は上昇する展開が続きました。

2015年4月以降は、中央銀行が発表した2015年の経済成長率の見通しが市場予想を下回ったことや市場の予想を下回る業績発表が相次ぎ、海外投資家の売りが殺到し、下落する局面となりました。

2016年の年明けには、中国株式市場の大幅下落を受けて、資源株主導で下落したものの、中央銀行が政策金利を引き下げたことや米国の金融引き締めが緩やかになるとの観測が広がったことなどから買い安心感が広がり、堅調な推移となりました。その後、S & P社がインドネシア国債を投資適格級に格上げしたことや2018年の成長加速を政府が示したこと、および海外からの投資促進のための規制緩和策が好感されて史上最高値を更新する動きが続きました。

2020年1月に入ると中国・武漢で発生した新型コロナウイルスの感染拡大が警戒され下落に転じました。その後も新型コロナウイルスの世界的な感染拡大を受け、一時的な反発局面はあったものの、経済への影響が深刻化するとの方や、世界的なリスクオフの流れの影響を受け大きく下落しました。

2021年10月以降は、新型コロナウイルス感染状況が少し落ち着いたことに加えて、堅調なコモディティ市場や市場の事前予想比で強めの経済指標の発表などを背景に海外からの資金が流入し、大きく上昇しました。その後も海外からの資金流入等に支えられ2023年9月にかけて史上最高値を更新する展開が続きました。

＜外国為替市場＞

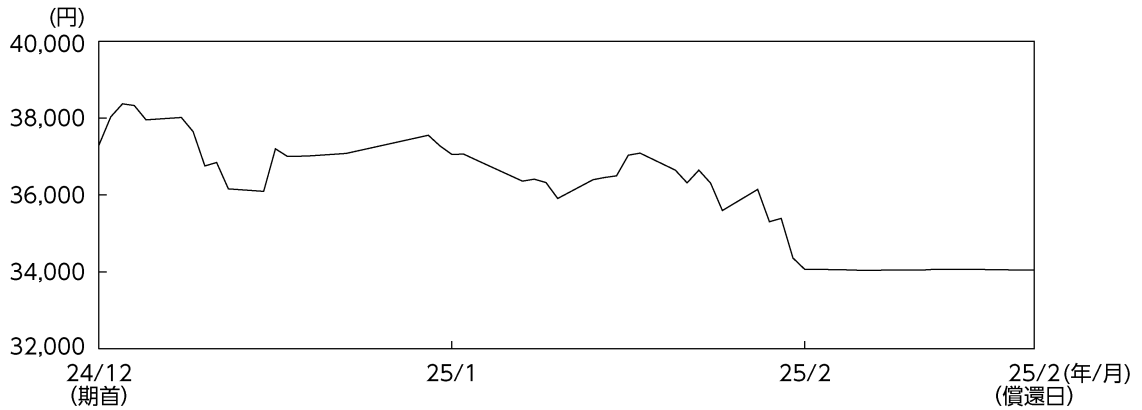
外国為替市場では、インドネシア・ルピアは円に対して上昇しました。

○運用状況【第１期～第15期】（2009年11月30日～2024年12月９日）

本ファンドは、インドネシアの株式に投資し、信託財産の積極的な成長をめざして運用を行いました。この期間のパフォーマンスは273.0%となりました。

運用経過

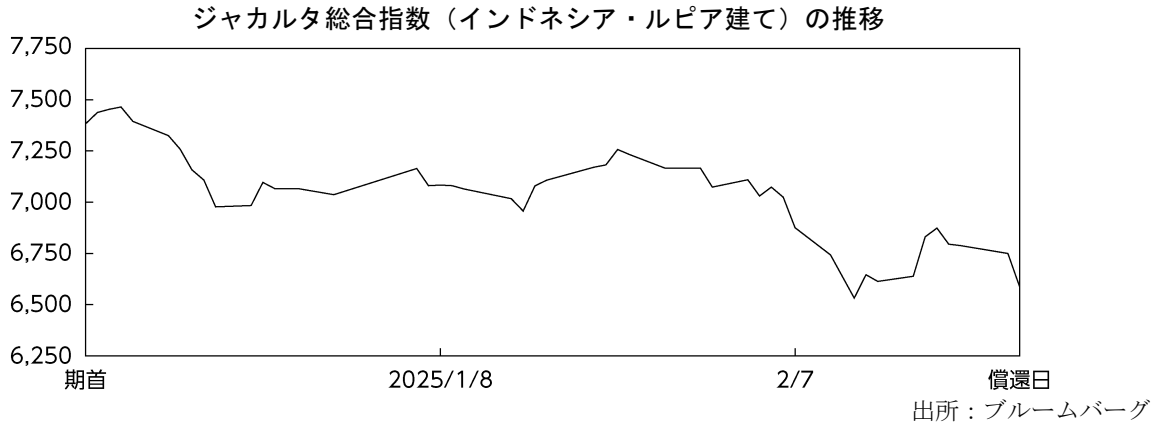
■基準価額の推移について（2024年12月10日～2025年2月26日）



■基準価額の主な変動要因

前期末37,303円であった基準価額は、インドネシア株式市場が下落し、インドネシア・ルピアも対円で下落したことから、償還日には34,049円04銭となりました。

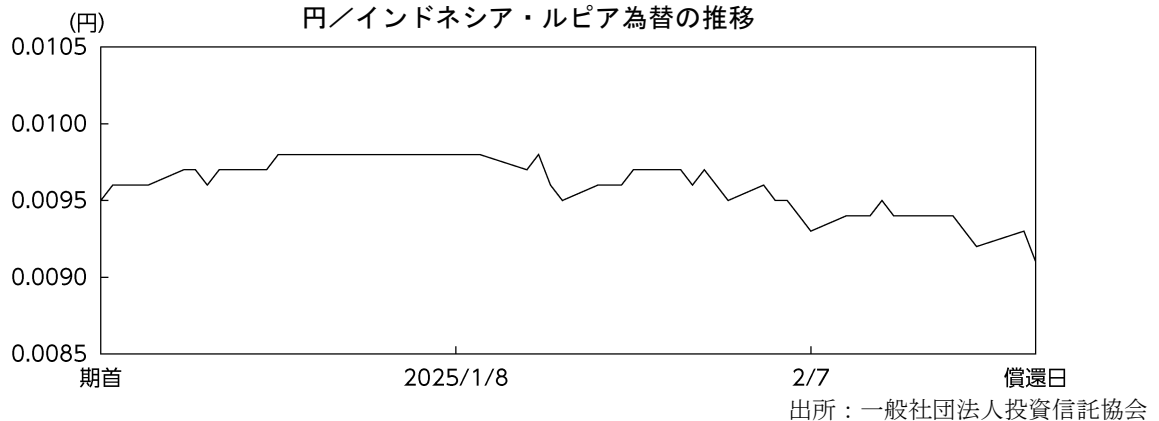
■投資環境について
 <インドネシア株式市場>



当期のインドネシア株式市場は、主要株価指数であるジャカルタ総合指数（インドネシア・ルピア建て）は下落しました。

期首より、次期米大統領就任後の経済政策等への不透明感などを背景に、インドネシア株式は下落しました。その後、年末までは小動きで横ばい推移となりました。2025年1月半ばまでは小動きの展開が続き、インドネシア中銀が予想外の利下げを実施するとインドネシア株式は一旦上昇しましたが、長く続かず反落しました。その後は大手銀行の決算発表が市場予想を下回ったことや、テクニカルな要因で再生可能エネルギー関連株が大きく下落したことなどにより、インドネシア株式市場は下落しました。償還日にかけては、米国の関税政策への懸念などから世界的に株式市場が軟調となるなか、インドネシア株式も下落する展開となりました。

＜外国為替市場＞

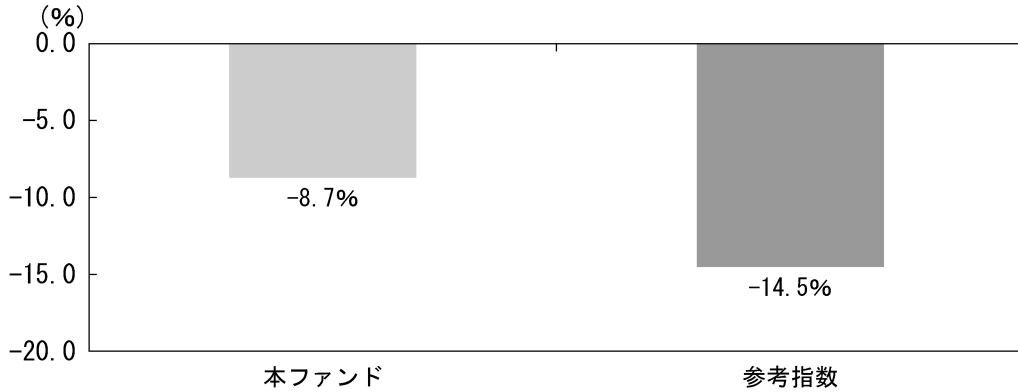


当期のインドネシア・ルピア（以下、ルピア）は、前期末と比較して円高・ルピア安となりました。

期首に1ルピア＝0.0095円で始まった円・ルピア相場は、インドネシア中銀が通貨防衛のために為替介入を実施し、ルピアの安定を優先することを強調したことなどにより、2024年末に向けて円安・ルピア高の動きとなりました。2025年1月にインドネシア中銀が予想外の利下げを行ったことから、通貨ルピアの安定よりも景気支援を選好したとの見方が広まり、ルピアは売られることとなり、対円で下落しました。トランプ米大統領就任以降は、総じて追加関税への思惑により振らされる展開となりました。2月に発表された1月の外貨準備高が過去最高を更新したことが伝わるとルピアは強含む場面もありましたが、ルピアに対する懐疑的な見方も根強くあり、償還日にむけてルピアは対円で下落基調が続きました。償還日の円・ルピア相場は、前期末と比較して4.2%円高・ルピア安の1ルピア＝0.0091円となりました。

■ベンチマークとの差異について

本ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは本ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注) 参考指数はジャカルタ総合指数（円換算指数）です。

信託期間終了時における償還価額は34,049円04銭となりました。

本ファンドは、信託約款の規定に基づき、2025年2月26日をもちまして繰上償還させていただくことになりました。

■1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2024年12月10日～2025年2月26日		
	金額	比率	
売買委託手数料 (株式)	163円 (163)	0.447% (0.447)	有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料／期中の平均受益権口数
その他費用 (保管費用)	36 (36)	0.098 (0.098)	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
合計	199	0.545	
期中の平均基準価額は36,338円です。			

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む。)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 金額欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

■売買及び取引の状況(2024年12月10日から2025年2月26日まで)

株 式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	イ ン ド ネ シ ア	百株 16,352	千インドネシア・ルピア 2,535,138	百株 2,096,905	千インドネシア・ルピア 148,345,803

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	1,386,011千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	1,288,476千円
(c) 売 買 高 比 率 (a) / (b)	1.07

(注) (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

■主要な売買銘柄(2024年12月10日から2025年2月26日まで)
株 式

当 期							
買 付				売 付			
銘 柄	株 数	金 額	平均単価	銘 柄	株 数	金 額	平均単価
	千株	千円	円		千株	千円	円
AKR CORPORINDO TBK PT(インドネシア)	1,573	17,266	10	BANK RAKYAT INDONESIA(インドネシア)	2,748	103,804	37
INDOFOOD CBP SUKSES MAKMUR TBK(インドネシア)	61	6,266	101	BANK CENTRAL ASIA PT(インドネシア)	1,254	103,713	82
				TELKOM INDONESIA PERSERO TBK PT(インドネシア)	3,795	91,809	24
				BANK MANDIRI TBK(インドネシア)	1,560	78,662	50
				SUMBER ALFARIA TRJAYA TBK PT(インドネシア)	1,939	51,402	26
				GOTO GOJEK TOKOPEDIA TBK PT(インドネシア)	65,421	49,198	0.75202
				BARITO RENEWABLES ENERGY TBK(インドネシア)	597	47,483	79
				BANK NEGARA INDONESIA PT(インドネシア)	988	40,754	41
				INDOFOOD CBP SUKSES MAKMUR TBK(インドネシア)	373	38,346	102
				SURYA CITRA MEDIA PT TBK(インドネシア)	21,161	35,957	1

(注) 金額は受け渡し代金。

■利害関係人との取引状況等(2024年12月10日から2025年2月26日まで)

利害関係人との取引はありません。
(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細(2025年2月26日現在)

償還日における有価証券の組入れはありません。

■投資信託財産の構成

2025年2月26日現在

項 目	償 還 日	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	1, 170, 299	100. 0
投 資 信 託 財 産 総 額	1, 170, 299	100. 0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

■資産、負債、元本及び償還価額の状況

項 目	償 還 日
	2025年 2 月26日
(A) 資 産	1, 170, 299, 953円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	1, 170, 299, 953
(B) 純 資 産 総 額 (A)	1, 170, 299, 953
元 本	343, 710, 087
償 還 差 益 金	826, 589, 866
(C) 受 益 権 総 口 数	343, 710, 087口
1万口当たり償還価額 (B/C)	34, 049円04銭

■損益の状況

項 目	当 期
	自2024年12月10日 至2025年 2 月26日
(A) 配 当 等 収 益	5, 651, 178円
受 取 配 当 金	4, 039, 095
受 取 利 息	1, 612, 083
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 129, 612, 741
売 買 益	20, 418, 901
売 買 損	△ 150, 031, 642
(C) 保 管 費 用 等	△ 1, 431, 377
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 125, 392, 940
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	1, 182, 857, 726
(F) 解 約 差 損 益 金	△ 230, 874, 920
償 還 差 益 金 (D + E + F)	826, 589, 866

(注1) 損益の状況の中で (B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で (F) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 期首元本額は433, 235, 167円、当作成期間中において、追加設定元本額は0円、同解約元本額は89, 525, 080円です。

(注4) 元本の内訳 インドネシア株式マザーファンド 343, 710, 087円